

## 独立行政法人酒類総合研究所の事業年度評価の総括評価シート

### ○ 項目別評価

中期計画の大項目	評定	理由・指摘事項等
1 業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	A	<p>各項目にわたり中期計画に沿って、引き続き効率化が図られている。</p> <p>物件費の経費節減については、一般管理費、業務経費のいずれにおいても、平成 13 年度に引き続き、積極的な競争入札の実施等により経費節減に努め、効率化が達成されている。</p> <p>業務運営については、独立行政法人移行に伴い構築された組織体制の下で、理事長裁量予算枠の活用をはじめとする効果的な資金の配分が行われている。また、平成 13 年度の理事長裁量予算の配分の効果のフォローアップも適切に行われ、実際その成果も見られるなど、効果的で柔軟な運営がなされている。</p> <p>施設、機器等の効率的使用については、引き続き適切な取組みによる効率化が図られている。特に、法人所有の施設機器の外部利用については、ホームページでの周知など有効利用が一層図られるよう対処している。</p> <p>事務の効率的処理については、引き続き外部委託を効果的に活用し、かつ単価の見直しや効果的な競争入札実施のための取組みなどの努力がなされ、効率化が図られている。</p> <p>また、平成 13 年度の業務の実績評価における指摘事項等については、業務に適切に反映している。</p> <p>これらのことから、本項目の評定をAとする。</p>
2 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	A	<p>中期計画の実施状況は、大部分の項目で順調であった。</p> <p>酒類に関する分析・鑑定業務、酒類の品質評価業務については、研究業務とともに当研究所の基幹業務であるが、いずれも受益者利益に配慮し適切に実施されていた。</p> <p>研究業務については、特別研究の 2 項目で平成 13 年度に引き続き、また、経常研究の 1 項目で平成 14 年度新たに「A+」の評定を得たが、これらの研究課題は先進的であり、インパクトの高い成果が得られており評価できる。その結果、特許の出願件数は、本年度で中期目標をクリアしている。今後の展開においては、共同出願の状況などにも配慮しつつ、新たな目標を掲げるよう検討を要請したい。それ以外の項目においても、着実な成果が認められる。引き続き、今後の効果的な研究の展開を期待する。なお、研究業務の推進に当たっては、課題によっては成果が得られるまでに数年かかることも想定した長期的展望に立って取り組んでいくこ</p>

<p>2 国民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</p>		<p>とも期待する。</p> <p>研究業務以外のサービス業務については、独立行政法人移行後に新たに開始した業務も含めて、受益者の立場に立った積極的な取り組みや工夫が認められ、適切な実施体制も固まりつつある。また、情報誌「お酒のはなし」を新たに発刊し好評を博していることなど十分に評価できる。酒類に関する高度な研究成果を背景に、国民に開かれた研究所としての展開を引き続き期待したい。</p> <p>今後とも、研究課題の優先度や緊急性、業務の公共性及び社会に対する成果の還元等に一段と配慮しながら業務に取り組み、当研究所ならではの特色を指向しつつ業務を進展させていくことを期待する。その際、各業務の性格に応じて、必要な人的資源の継続性にも配慮するよう期待する。</p> <p>平成13年度の業務の実績評価における指摘事項等については、業務に適切に反映されている。</p> <p>これらのことから、本項目の評定をAとする。</p>
<p>3 予算(人件費の見積りを含む。)、収支計画及び資金計画</p>	<p>A</p>	<p>中期計画に則って引き続き的確に運営されている。</p> <p>平成13年度は、独立行政法人に移行した初年度であった事情から、予算執行の若干の遅れによる運営費交付金債務の残高が生じたが、それらは平成14年度当初に執行されている。平成14年度末の運営費交付金債務の残高は161百万円(主に退職金の未執行分)へと減少しており、適切な執行と認められる。</p> <p>本年も、引き続き外部研究資金を得て受託研究を実施し、研究の活性化を図っているが、これらの予算上の扱いについて、平成15年度計画に適切に反映させるべく、平成14年度中に検討を開始し、努力目標を含めて見積もっている。今後とも、収支計画及び資金計画については、より実態に即した形で見込むよう検討する必要がある。</p> <p>また、平成13年度は一部の鑑評会への出品や酒類醸造講習を有料化したが、平成14年度は更に有料化業務の範囲を拡大し、外部収入の獲得に向けた取り組みも継続している。</p> <p>消費税の還付金を原資とする積立金等の管理方法は適切である。</p> <p>これらのことから、本項目の評定はAとする。</p>
<p>4 短期借入金の限度額</p>	<p>○</p>	<p>借り入れの実績はなく妥当である。</p>

5 重要な財産を譲渡し、又は担保に供しようとするときは、その計画	○	計画に沿った展開(実績なし)で妥当である。
6 剰余金の使途	○	中期計画に則った展開であり妥当である。平成14年度中に財務大臣に承認された目的積立金(平成13年度実績)については、平成15年度中の使用を計画している。
7 その他財務省令で定める業務運営に関する事項	A	<p>施設及び設備の整備については、中期計画に則った展開(実績なし)で妥当である。</p> <p>人事に関する計画については、任期付任用制度を活用した研究の活性化が図られている。また、業務の効率化とともに常勤職員の増加抑制にも成果が見られる。</p> <p>研究職員の動機付けに資することを旨とした人事システムの確立に関しては、研究所内で検討を続けており、着実な取組みが認められる。検討に際しては、当研究所は研究業務のほかに多くの業務を実施しているため、複数の価値体系を設けるよう配慮が必要である。</p> <p>研究職員の能力開発については、国際的な場を活用した研究成果の発表、海外研究者との情報交換等の機会を積極的に与えている点では評価できる。一段の活性化策としては、もう少し長期的な育成研修への取組みも望まれる。</p> <p>これらのことから、本項目の評定をAとする。</p>

## ○全体評価

平成 14 事業年度は、独立行政法人移行後 2 年目に当たるが、当研究所の業務の実績は中期計画に照らして順調であると認められる。

当研究所は、国立機関の頃から、酒類に関する世界的にも類を見ない研究機関として積み重ねてきた実績もあって、独立行政法人移行後も、醸造微生物、醸造関連酵素などをはじめとする研究業務全般において依然高いレベルにあり、基礎研究から産業現場までをカバーする独創的な研究を引き続き順調に実施している。また、清酒酵母や麴菌の遺伝学的基盤に関する研究では先進的な取組みを積極的に推進しており、今後の成果が期待されているところである。

平成 13 年度より本格的に開始されたサービス業務については、適切な実施体制が固まりつつあり、新しい刊行物も好評を得るなど、国民への情報提供サービスを充実してきている。有料化の業務も拡大されているが、引き続き移行は順調であり、当研究所が酒類業者のニーズに応えた効果的なサービスを提供していることがうかがえる。

ただ、研究業務の一部には、実施状況としてはおおむね順調としても、その内容面の工夫の余地が認められるものが若干あり、目標達成のために今後の効果的な取組みが期待される。なお、独立行政法人移行後の新規業務のうち、平成 13 年度評価において同様の指摘を行った項目については、指摘内容が適切に業務に反映されていると認められた。

研究の活性化については、人事に関する計画との関連でいえば、任期付任用制度について、制度活用のための積極的な取組みが引き続きうかがえる。また、平成 13 年度評価において、新しい人事システム構築に向けた前向きな取組みを要請した点については、研究職員の動機付けに資することを目指した人事システムの確立へ向けて着実な取組みが認められる。今後は更に、長期的な育成研修の充実も望まれる。

予算については、独立行政法人制度の趣旨に則って的確に執行されるとともに効率化も達成されている。

平成 13 年度に引き続いて平成 14 年度も業務の実績の評価において、各項目で高い評価に値する成果が得られたことは、平成 13 年度に構築した新しい組織体制による業務運営が軌道に乗りつつあり、なおかつ期待どおりに機能していることを示しているといえる。これは、理事長等のマネジメントが有効に機能した結果と評価できる。すなわち、業務運営において、理事長は業務の目的を認識した上で、研究職員など組織構成員の業務の実施状況を把握し、これらの情報を基に必要な判断や指示を的確に行っていた。理事は、理事長の指示に基づき東京事務所の業務管理を専断的に行うとともに、業務全般にわたり実施状況を把握した上で理事長を的確に補佐していた。また、監事も定期的な監査業務を通じて業務運営等に関する助言及び情報提供を行うなど、期待される活動を行っていたと認められる。

酒類は国民生活にとって非常に馴染み深い嗜好飲料であることから、今後も引き続いて、開かれた研究所として国民のニーズを的確に把握し、質の高いサービスを提供し信頼を獲得していくとともに、酒類に関する先端的研究・技術開発の国内外への発信基地として一段の活性化が図られるよう期待する。